

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2024年5月20日】第207号



授業参観

5月14日(火)、15日(水)、16日(木)の3日間、本校では保護者の皆様に授業を参観していただきました。毎日、名簿順に各学級12名の保護者のみという制限はありますが、1,2時間目、中休み後から3,4時間目、そして午後は13時からの5,6時間目と、3つに区切り、区切りの間は入退校も可としました。これにより、途中でお父様とお母様が交代したり、あるいは、午後からお仕事に行かれたりなどの調整ができると考えたからです。授業はいつも通りとしましたが、お家の方に見ていただくというだけで、子どもたちはいつもよりもさらに熱心に授業に取り組んだようです。子どもたちの学習環境を守り、また、正門管理においては学校の安全を守りながらの授業参観の運用にご協力いただきました保護者の皆様に、感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが蔓延していた時期は、来校型の授業参観ができませんでした。そのため、授業の様子をオンラインで配信してご覧いただいていたこともありました。教室にカメラを3台置き、ほぼ定点で撮影しての配信でしたが、給食や休み時間も含めて配信でき、保護者はご都合のよい場所で、ご都合のよい時間帯にご覧いただけるというところは利点でした。しかし、保護者の皆さんに学校の雰囲気をもっと見て、感じていただけるという点、また、子どもたちにも励みになるという点に、対面型の良さを感じた3日間でした。

5月は制服の移行期間

暑い日があると、熱中症が心配です。しかし、本格的な夏に向けて、注意しながらも少しずつ暑さにも慣れていく必要もあります。そのためにも、元気に外で遊び、汗を拭き、水を飲み、体の調子を見ながらもっと遊んだり、あるいは休んだりすることが大切です。体育でも、子どもたちの様子を見ながら、授業を行っています。

制服についても、暑い日は夏制服、涼しい日は冬制服を、というようにご家庭の判断で着用するのが5月です。お子様と天気予報を見て、着用する肌着や制服を選んだり、傘の準備をしたりするのもよいでしょう。そのような経験により、自分で判断して適切な服装を選び、持ち物の準備ができるように育つと考えています。そして、朝、お子様を送り出すときに服装が適切かどうか、もう一度ご確認ください。無帽あるいは夏制服なのに冬制帽をかぶるなど間違えた着用だったり、雨なのに傘無しで来たりする子どもには、注意を与えています。長い髪がきちんとしていない子どもも同様です。子どもたちには、素敵な制服をきちんと着用して登校してきてほしいと思います。

ソラマメ、エンドウマメ、エダマメ、そしてナス

先週の5月10日(金)に3年生がむいたソラマメが、ゆでソラマメとして給食に登場したのに続き、5月14日(火)、1年生はエンドウマメのさやむきをしました。山盛りになったグリーンピースは、給食のグリーンピースご飯に使われました。授業参観の保護者が見守る中、子どもたち

はいつもより？てきぱきと、さやむきに取り組み、笑顔で給食を食べました。

また、「稲花小の畑」には 5 月 10 日(金)は 3 年 1 組が、17 日(金)は 2 組がエダマメの成長を観察に、16 日(木)には、2 年生がナスの成長を観察に行きました。2 年生の保護者の皆様には、授業参観としてご同行いただき、住宅地の中の畑の様子をご覧いただきました。子どもたちも、農作物がぐんぐんと成長する様子を見て、収穫が楽しみになったことでしょう。

全校児童がマンゴーをいただきました

5 月 16 日(木)、たくさんのマンゴーが農大稲花小に届きました。14 日にタイで収穫され空路日本に届いたもので、マハチャノックという品種です。これは東京農業大学国際農業開発学科の志和地弘信教授のご紹介で、国際農業開発学科(旧 農業拓殖学科)の卒業生であり Gorilla Intelligence LLC の代表である山崎 忠様が、本校の全児童と教職員に 2 つずつプレゼントしてくださったものです。このプレゼントは毎年続いているもので、お気持ちが本当にありがたく感謝しています。タイのスタッフがデザインしたというかわいい布バッグに入ったマンゴーは、子どもたちに手渡され、お家でおいしく味わうことができました。配布に当たっては、Gorilla Intelligence の 2 名の社員様、そして、国際農業開発学科の 8 名の学生さんにもお世話になりました。

なお、志和地教授には 1 年生を対象に「食育ミニ講義マンゴー」としてわかりやすくお話をさせていただきました。このミニ講義も毎年お願いしているものですが、1 年生もマンゴーが実る様子や、どこを触るとかゆくなるのかなどを学んでいました。きっと、お家でもマンゴーのお話が弾んだことでしょう。

Gorilla Intelligence LLC. HP : <https://www.g-intel.com/>

田植え

5 月 17 日(金)、1 年生はバスに乗って横浜市青葉区にある「田奈の田んぼ」に田植えに行きました。田植えの指導は、東京農業大学農芸化学科の横田健治教授、犬伏和之教授、加藤拓教授の三人です。田んぼの様子を見せていただき、田んぼのオーナーの野路さんご夫妻にもご挨拶した 1 年生は一斉に田んぼに入り、イネの苗を手植えしました。大学生のお兄さんやお姉さんがサポート役としてつき、子どもたちは靴下をはいてはいましたが、泥の感触を感じながら田んぼに臆することなく入りました。先生方に親切に声をかけていただきながら、数株くらいでもよいかという予定でしたが、思ったより多くの苗を植え付けることができました。苗の列は曲がっていたり、間隔が乱れたりしていましたが、これは後から野路さんのお世話になるようです。

田んぼから上がった子どもたちは、用水路の流れに足を入れてつま先から膝くらいまでを洗い、靴下も洗って帰路につきました。気づくと靴下が用水路を流れてしまった子どももいました。

田植えには、学校法人東京農業大学最高顧問の大澤貫寿先生にもお出かけいただきました。本校創立以来、田植えにはいつもいらして、子どもたちの様子を見ていただいています。また、3 人の大学教授の皆様には田植えだけでなく稲刈りまでお世話になります。犬伏先生と加藤先生に

は、4 月下旬に、5 年生の「食と農」の博物館特別展示「美しき土壌の世界(開催中)でもご指導いただきました。

美しき土壌の世界 : <https://www.nodai.ac.jp/campus/facilities/syokutonou/exhibits/>

教育後援会イベント グラウンドで遊ぼう

5 月 18 日(土)、東京農業大学教育後援会のイベントとして、1 年生の子どもたちと保護者を対象とした「グラウンドで遊ぼう」が開催されました。1 学年の半数を少し超えるご家庭が参加したとのことで、人工芝の美しい校庭で思う存分遊んだり、保護者同士の交流が進んだりしたことでしょう。教育後援会の役員の皆様には、企画と運営とをありがとうございました。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏 秋 啓 子